

放課後等デイサービス事業所における自己評価結果(公表)

公表:令和 5年 12月 28日

事業所名:すばはぐ

	チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた 改善内容又は改善目標	
環境・ 体制整備	1 利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切である	7					
	2 職員の配置数は適切である	6		1		配置数は適性ですが、より良いサービス提供のため、施設が考える必要な人員の採用を進めます	
	3 事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮が適切になされている	3	3	1	段差があるため、活発に動き回っている児童には適宜声掛けをしている。	対応可能な場所があるか検討を行います	
業務改善	4 業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画している	3	4			新入社員やパートの方にも分かりやすいよう、心がけます	
	5 保護者等向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげている	5	2			今以上に意向の把握を行い、業務改善を行っていきます	
	6 この自己評価の結果を、事業所の会報やホームページ等で公開している	2	4			自己評価の結果について令和3年より毎年ホームページに公開しています	
	7 第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげている			1	5		第三者による外部評価を検討します
8 職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保している	4	1	2		社内のグループ施設での実務を通じた研修を中心に、グループ全体で療育の質が確保できるように工夫して研修を行っています。	療育の質向上のため、パートの方も含め研修の機会を増やしていこうと思います	
適切な 支援の 提供	9 アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成している	3	3	1			
	10 子どもの適応行動の状況を把握するために、標準化されたアセスメントツールを使用している	3	4		子どもに合わせて適宜取り入れてみて、試みています	事業所内での統一のものを使用してアセスメントしております	
	11 活動プログラムの立案をチームで行っている	7					パートの方も含めすべての職員が参加できるように対応していきます
	12 活動プログラムが固定化しないよう工夫している	7			サイエンスを取り入れることを提案したり、どのようなプログラムがいいのか考えたりできました。利用児童の興味分野も考慮しながら、プログラムの立案を行いました。		
	13 平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援している	3	3	1	毎日のミーティングにて、課題についての話し合いを行っています		
	14 子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成している	4	3	1			
	15 支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認している	6	1		毎日ミーティングを行っています。支援に参加する職員全員に、毎回1日の担当配置表を共有しています。	パートの方も含めすべての職員が参加できるように対応していきます	
	16 支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有している	4	3		支援終了直後に送迎などの影響で振り返りが出来ないことがあります。翌日のミーティング時に振り返りなどの共有を必ず行っています。		
	17 日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげている	4	1	2			
18 定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断している	5	2					
19 ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせる支援を行っている	5	2					

	チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた 改善内容又は改善目標	
関係機関 や保護者との 連携	20	障害児相談支援事業所のサービス担当者 会議にその子どもの状況に精通した最もふ さわしい者が参画している	7				
	21	学校との情報共有(年間計画・行事予定等 の交換、子どもの下校時刻の確認等)、連 絡調整(送迎時の対応、トラブル発生時の 連絡)を適切に行っている	6	1			今後も安心してご利用できるよう情報共有してい きます
	22	医療的ケアが必要な子どもを受け入れる場 合は、子どもの主治医等と連絡体制を整え ている					
	23	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認 定こども園、児童発達支援事業所等との間 で情報共有と相互理解に努めている	4	3			今後も安心してご利用できるよう情報共有してい きます
	24	学校を卒業し、放課後等デイサービス事業 所から障害福祉サービス事業所等へ移行す る場合、それまでの支援内容等の情報を提 供する等している					(現在は該当者は対象者なし) 対象となる児童については、連携に努めていきま す。
	25	児童発達支援センターや発達障害者支援セ ンター等の専門機関と連携し、助言や研修 を受けている	2	3	2		専門機関の研修を受けていきたいと思ひます
	26	放課後児童クラブや児童館との交流や、障 がいのない子どもと活動する機会がある	1	2	4		保護者の方の意向、感染症の影響等を考慮しな がら行いたいと思ひます
	27	(地域自立支援)協議会等へ積極的に参加 している	1	4	2		
	28	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合 い、子どもの発達の状況や課題について共 通理解を持っている	6	1			
保護者への説明 責任等	29	保護者の対応力の向上を図る観点から、保 護者に対してペアレント・トレーニング等の支 援を行っている	4	3			保護者の方のご要望をお伺いしながら検討しま す
	30	運営規程、支援の内容、利用者負担等につ いて丁寧な説明を行っている	5	2			保護者の方へのわかりやすい説明を心がけます
	31	保護者からの子育ての悩み等に対する相談 に適切に応じ、必要な助言と支援を行って いる	5	1	1		
	32	父母の会の活動を支援したり、保護者会等 を開催する等により、保護者同士の連携を 支援している	2	1	3	グループ施設を含めた全体 でのババママカフェ(座談会) を開催しました。	今年度は1回の開催となりました。今後も企画を 考えています
	33	子どもや保護者からの苦情について、対応 の体制を整備するとともに、子どもや保護者 に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適 切に対応している	5	2			
	34	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事 予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者 に対して発信している	4	2	1	毎月事前にプログラム予定 表をお渡し、気になるプログ ラムに参加しやすくなるよう にしています	定期的な発信を心掛けます
	35	個人情報に十分注意している	7				
	36	障がいのある子どもや保護者との意思の疎 通や情報伝達のための配慮をしている	6	1			
	37	事業所の行事に地域住民を招待する等地 域に開かれた事業運営を図っている	1	4	2		利用児童に配慮しながらの開催を検討してい きます

	チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた 改善内容又は改善目標
非常時等の 対応	38 緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知している	4	3			保護者の方へのわかりやすい説明を心がけます
	39 非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っている	4	3			パートの方も含めすべての職員が参加できるように対応していきます
	40 虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしている	3	3	1	虐待防止研修を最低でも年2回行うようにしています。また、研修資料をいつでも閲覧できるようにファイリングしています	パートの方も含めすべての職員が参加できるように対応していきます
	41 どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載している	4	3			身体拘束適正化委員会で十分な討議を重ね、必要な場合には計画に反映していきます
	42 食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされている	4	3			保護者の方からの意向を聞き、対応しています
	43 ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有している	3	3	1		パートの方も含めすべての職員が周知しやすいように工夫していきます